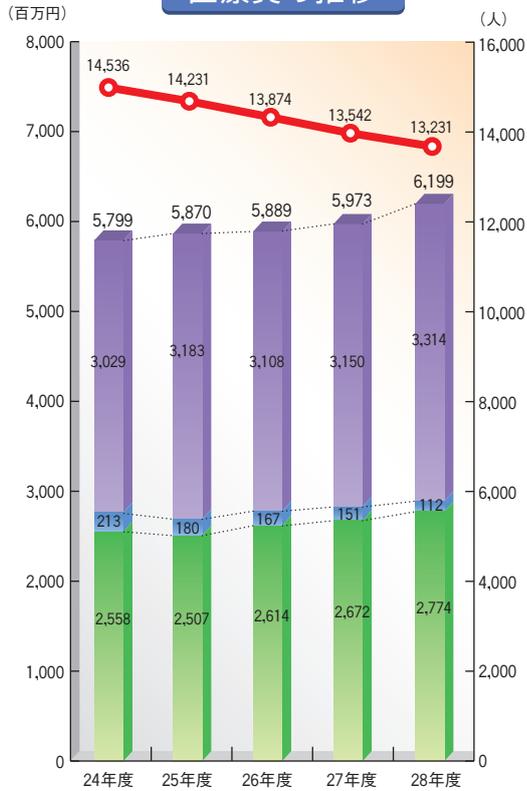


那須烏山市

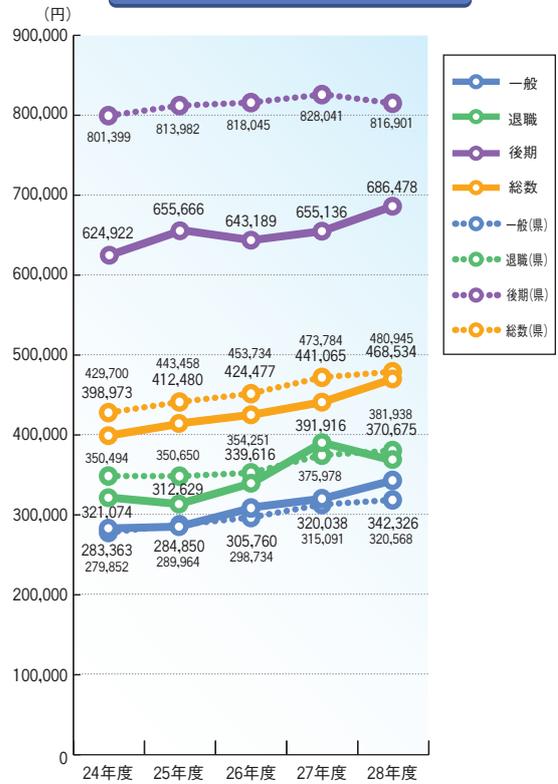
那須烏山市



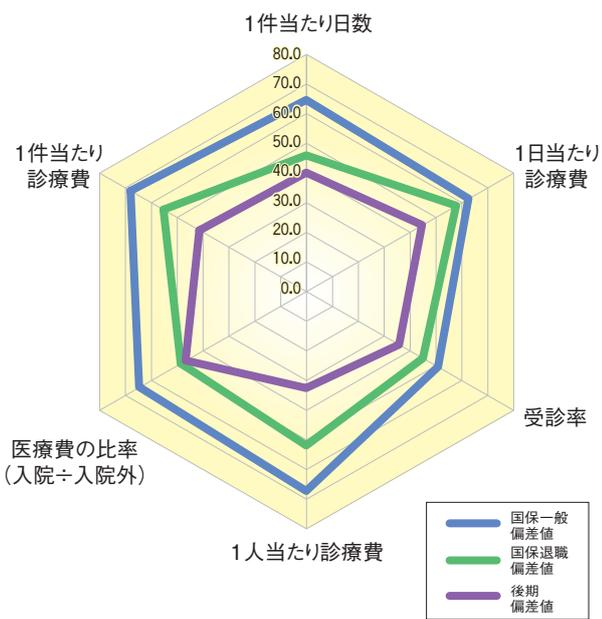
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

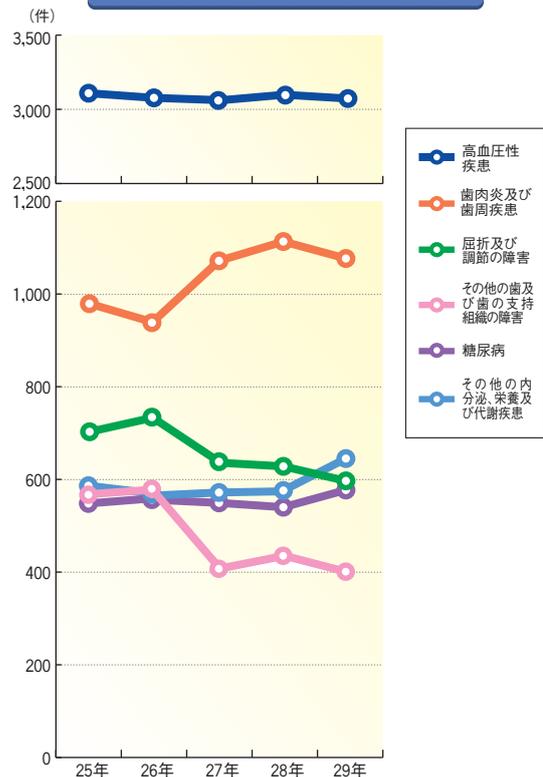


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

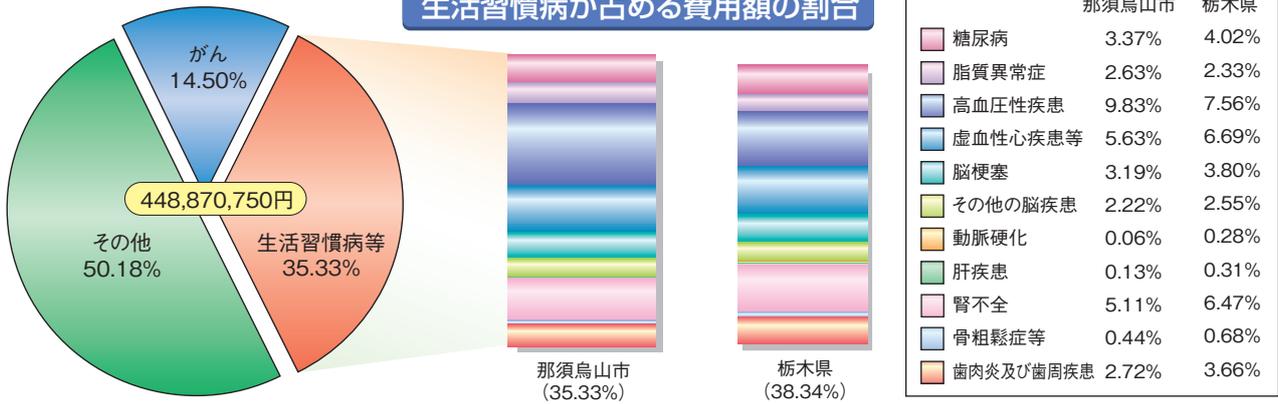
多受診疾病上位6位の推移



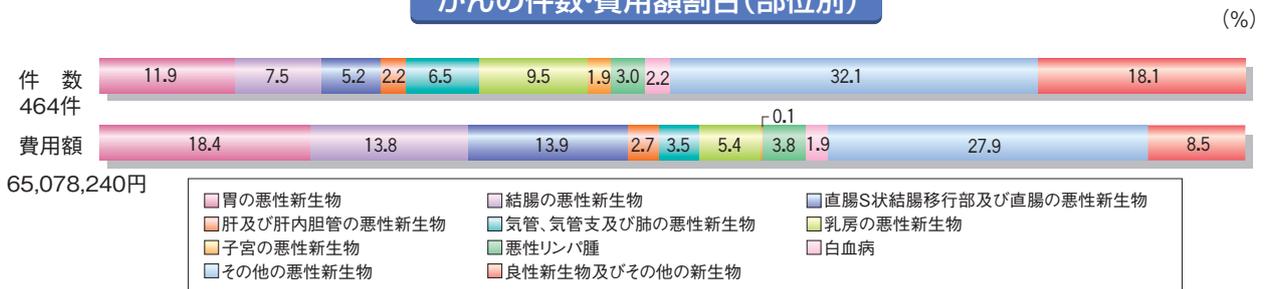
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那須烏山市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,773,528円(103.8%)、退職111,944千円(74.0%)、後期3,313,856千円(105.2%)で、全体では6,199,327千円(103.8%)と増加している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は13,231人で、内訳は一般8,102人、退職302人、後期4,827人である。前年度比較すると全体で97.7%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は468,534円(27,469円増)、一般は342,326円(22,288円増)、退職は370,675円(21,242円減)、後期は686,478円(31,342円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般はすべての項目において県平均を上回っており、後期は全ての項目において県平均より低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌・栄養及び代謝疾患、4位屈折及び調節の障害、5位糖尿病、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも4位の屈折及び調節の障害の件数は減少しているが、費用額は年々増加傾向となっている。

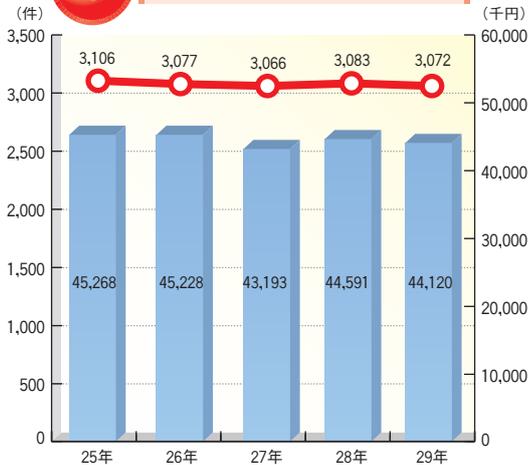
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも高血圧性疾患の占める割合が高い比率となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が448,870,750円で、がんが14.50%、生活習慣病等が35.33%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.83%、虚血性心疾患等5.63%、腎不全5.11%となっている。

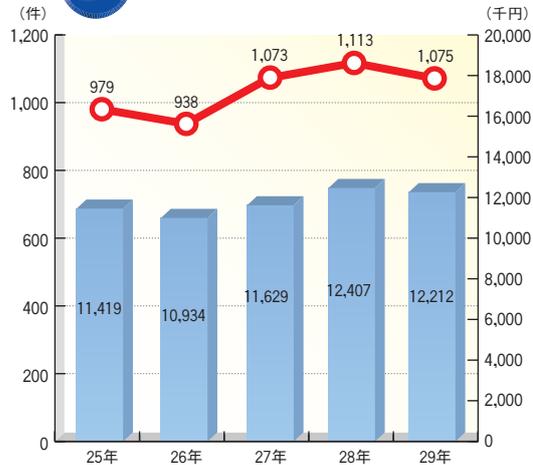
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

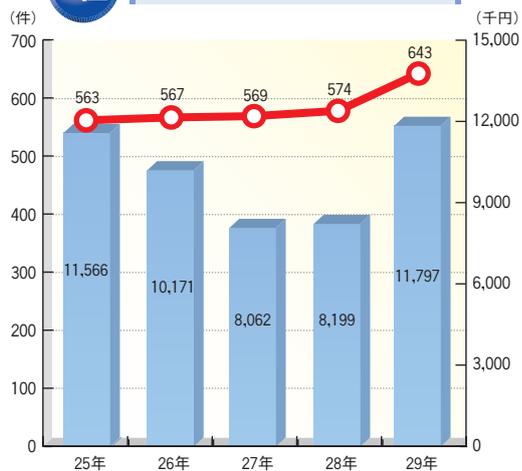
1位 高血圧性疾患



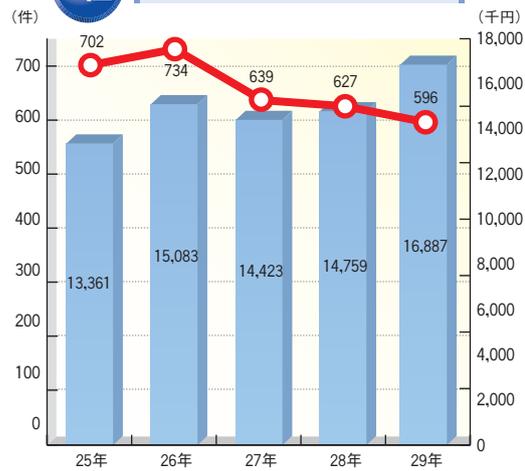
2位 歯肉炎及び歯周疾患



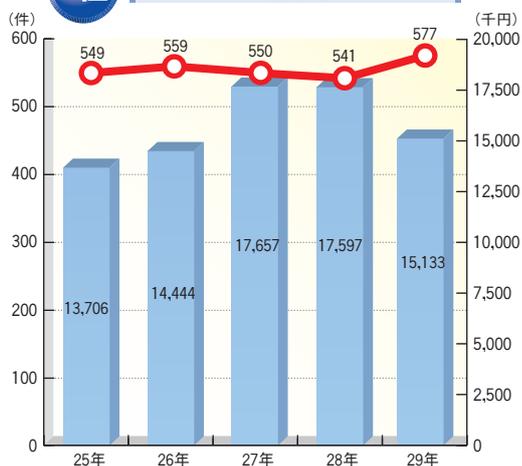
3位 その他の内分泌・栄養及び代謝疾患



4位 屈折及び調節の障害



5位 糖尿病



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

